

## 中間まとめに対するパブリックコメントに寄せられた意見 [中学校給食在り方検討委員会]

	意見内容(全文)
1	<p>私は、全体としては学校給食に賛成の立場です。ただし実施に際しては、さらに検討するポイントがあると思っています。</p> <p>私は、学校給食実施のメリットとしては、①食事の内容が汁物もあり、メニューも変化に富んでおり、しかも温かくおいしいこと。②普段経験の少ない配膳作業ができること。③早朝練習の多い中学校において、早朝より弁当作りをしなければならない保護者負担の軽減につながる。④栄養バランスを考慮したメニューにより、健康な体作りに貢献できること、などが思いつきます。デメリットとしては、①配膳・片付け作業の手間が増えることで、昼休みの時間が短くなってしまいます。その結果、これまで班会議、生徒会の会議などを行っていた時間がほぼ消滅すること。(放課後は、全員が部活動をしているため、中学校では、昼休みに多く会議が設定されます。)②午後の活動を遅くすれば、部活動時間の短縮という結果になること。③全教職員で給食指導に当たれる「ランチルーム方式」でない場合、学級担任の負担が増大すること。(口丹波の中学校で実施されている美山・和知中学校はランチルーム方式です。)④「食材の保管庫」「運搬用エレベーター」「配膳スペース」等、制度導入に伴い多くの施設設置が必要となること。(財政上の問題点)⑤給食実施時間が限定されてしまい、行事のあるときなど、学校の計画が束縛されること。⑥食の細かい子・アレルギーの子への対応。などが考えられます。</p> <p>今後の検討の観点として、学校現場の意向をしっかりと汲み取っていく必要があると思います</p>
2	<p>中学校給食の在り方や今日の中学生に求められている望ましい食生活の在り方など、多方面からよく考えてもらっていると思いました。他の地域で中学校給食を実施されているところがありますが、在住の方からも好評なので、是非、南丹市でも実施されたらと考えます。</p>
3	<p>栄養バランスのとれた給食をとる事で健やかな成長は促されると思いますが、①今でさえ少ない食事時間を更に配膳も含めた時間の確保 ②配膳場所・食事場所をどこでどのようにするのか ③配膳するときはエプロンは小学校のものを使用するのか(使用するのであれば、早めに保護者に知らせてほしい)等々の具体的なことを知らせてほしいと思います。特性を生かした学校給食等のその次ぎに来るものではないでしょうか。弁当の意義は、小学校と同様、行事の時に位置づけていくのが適当だと思います。</p>
4	<p>[中学校への給食導入について]</p> <p>生徒の栄養バランスや健やかな成長を考えるならば、導入は意義がある。しかし、ソフト面やハード面からの課題が多いと思うので、導入を急ぐべきではないと思う。(時間をかけてじっくりと)</p>
5	<p>生徒の食生活を見てみると、食の偏りや栄養のバランス面での課題があり、健康面にも影響があります。学校給食は、生徒にとって年間少ない機会ではありますが、食に関する指導をとおして心と体の豊かな成長について学ぶことができると考えられ、中学校の給食は大切であると思います。</p> <p>本市は食材の宝庫であり、多くの農産物を生産されています。地産地消により、生徒に食の安心・安全の提供と地元産品の良さを再認識させられるとともに、ふるさとを愛する心が育てられる良い学ぶ機会となると思います。さらに、成長過程における望ましい食習慣を養う重要性からも学校給食は進めていくことが大切であると考えられます。</p> <p>給食の良さは充分理解できますが、弁当の持つ親子関係の絆を深めるなど、教育的にも意義はあります。弁当の持つ良さを残しつつ給食が実施できることが望ましいと思います。</p>

### いただいたご意見等に対する教育委員会の考え方

いただきました全てのご意見・ご感想を、12月9日開催予定の「中学校給食在り方検討委員会」に報告することといたしております。また、給食実施の運用に係る具体的な意見につきましては、教育委員会における具体化議論の際の参考とさせていただきます。